

多治見市役所新庁舎検討市民委員会ワークショップ 会議録	
日 時	令和4年10月14日(金)午後3時00分～午後5時03分
会 場	産業文化センター 3階大会議室
出席委員	小林甲一委員(委員長)、柴田錦見委員(副委員長)、原國夫委員、加藤恒文委員、堀尾憲慈委員、佐々木千裕委員、今枝寛彦委員、小口英二委員、竹本幸二委員
欠席委員	佐藤喜好委員、坂崎雄介委員、西尾英子委員
職 員	堀尾建築住宅課長、日比野都市政策課長、今川課長代理、藤田主査、村瀬主査、虎山主査
事 務 局	仙石総務部長、福田総務課長、若林課長代理、石田主査、佐藤主任
傍 聴 人	非公開
報道機関	非公開
会議結果 要旨	
1. 基本構想に関するコンセプトやキーワードを見つけるため、ワークショップを実施した。	
会議録 要旨	
1 総務部長挨拶	
2 議事	
(1) ワークショップの趣旨	
事務局	(ワークショップの進め方について説明)
委員長	<p>進行役の方は、意見をまとめるというよりは、拾い上げるという意識で進めていただきたい。</p> <p>職員の方は、職場としての庁舎の利用者であり、一番庁舎に長く滞在する人たちである。新庁舎や新しい庁舎体制へのさまざまな思いがあると思うので、遠慮することなく意見をいただければと思う。</p> <p>最後に2点お願いがある。1点目、頭の中を「新庁舎と新しい市庁舎体制」にフォーカスして意見をいただければありがたい。2点目、これまでの議論や本日のワークショップで出た意見を基に、市民委員会としての基本構想、このような庁舎にしてほしいという願いをまとめたいと思っている。それに繋がっていくようなコンセプト、キーワードを意識して発言していただけるとありがたい。</p>
(2) ワークショップの主な意見	
	別紙
(3) まとめの紹介	
A グループ	
委員	<p>まず、虎溪用水広場について、新庁舎の中庭のような位置づけとし、自由通路、新庁舎、現駅北庁舎のどこからでも広場に繋がっていけるようなしつらえにできるとよい。虎溪用水広場は土岐川の水が水源になっており、ありのままの姿の水、ありのままの姿の植物を使い、環境に配慮した広場になっている。大いに活用すべきだと思う。虎溪用水広場は夏とても暑い。新庁舎から庇をななめに出し、ステージ部分が日陰になるよ</p>

うカバーできればよい。

新庁舎には、オープンスペースがあるとよい。災害時に、会議室等を一時避難場所として使えるよう考えていく必要があると思う。

市内に点在している、美濃焼を展示している施設や FMPiPi 等が新庁舎の中にあるとよい。地場産業である美濃焼を発信できる観光案内所のような場所をつくり、併設して即売所があるとよいという意見もあった。

庁舎周辺には食事ができる場所が非常に少ない。職員だけでなく、来庁者、一般の方が利用できる食事スペースが必要ではないか。駐車場を新たに設けず現状のスペースを平地で使うということであれば、土日や夜間は空いているので、そこをうまく利用してイベント等を行うことにより、にぎわいを創出できるのではないか。例えば、キッチンカーが入ってこれるような仕掛けをつくと、開庁時間外、開庁日以外でもにぎわいがうまれるのではないか。

駅南再開発では駐車場、駐輪場もかなりの台数整備しているという話もでた。極力、駅南から駅北へ車で乗り入れなくてもよい仕組みを、駅南の駐車場を活用してつくるというのも一つの手だと思う。

## B グループ

委員

新庁舎について、どういったところに重点に置いて考えていったらよいのか、大きく3つある。

1つ目は、新庁舎は職員にとっての職場であり、どういった職場にしていくのかということ。2つ目は、どういった市役所であってほしいか市民目線で考えていくということ。3つ目は、庁舎は多治見市を代表する建物であるので、建設費を抑えながらも多治見市として高機能で安全性の高い、全ての人に優しい庁舎であってほしいということ。この3つが一番の望みである。

多治見市は以前からネットワーク型コンパクトシティを掲げており、市役所で行う手続きは、ほぼ地区事務所で済むだろうということから、市役所の1、2階は主に市民が集える場所にしてほしい。虎渓用水広場をいかしながら、1、2階をどう市民が寄りやすい施設にしていくかが鍵になってくると思う。3階以上は、セキュリティ面も含めしっかりと仕事をしていただく階とし、1、2階は市民が集えるような入りやすい市役所にしていただきたい。

職員が忙しそうだと市民も声をかけにくい。職員にとっての快適な場所にすることが、市民にとって寄りやすい場所につながっていくと思う。

多治見市は緑の多いまちである。緑そして清流をいかした新庁舎とし、駅北庁舎、虎渓用水広場と一体となってPRしていけるとよいと思う。

環境がいい、快適な場所にしていくことで職員のモチベーションが向上し、利用者の満足度向上につながっていくのではないか。

仕事の合理化も必要である。仕事の内容も市民の方が来庁しやすいように考えていかなければならない。市民、職員の意見に加え、できれば専門の第三者機関に意見をいただきながら考えていってはどうか。

## C グループ

委員

市民の方が使いやすいよう、ワンストップで手続きができるようにすることが大切ではないか。現駅北庁舎では、死亡後の手続きがワンストップでできる白菊コーナーがある。そのように、あちこちの課に行く必要がないようにすることが大事ではないか。しかし、どうしても複数の課にいかなければいけないことはあると思うので、コンシェルジュや受付、案内に力をいれてもらえると市民は使いやすい。どのような手続きがワンストップにできるか、これからぜひ検討してほしい。特に、災害の時にパニックにならないように、どこに行けばよいかわかりやすいように簡単にしてもらえるとよい。

AI、DXの活用をしていくことで、簡単な手続きであれば、来庁せずに手続きができるようにしてほしい。ある程度のことは、家にも何でもできるようになるとうれしい。

一般の方も利用できる食堂をつくってはどうかと思ったが、他市町村をみるとあまりうまくいってない、にぎわっていない例もあるという意見があった。そうであるならば、今うまく稼働しているキッチンカーに力を入れてはどうか。職員がお昼を買ったり、お母さんたちがお子さんと遊びながら食べたり、夕方に勉強をしている学生が利用したり、夜は大人がお酒を飲めるようになるとよい。キッチンカーの場所には屋根がほしいなどと思う。新庁舎を建設する過程で、公園も少し手を加えると新庁舎と虎渓用水広場との連帯感が生まれるのではないかと。

民間施設をいれてみてはどうかという意見も出たが、地代が高くその場所を使える企業やお店はなかなかないのではないかと。新庁舎建設予定地で行っていた飲食店 **TREE by NAKED tajimi** のように期間限定で減免するなど、若い世代の人がチャレンジしやすい場所があってもおもしろいのではないかと。

新庁舎建設予定地は、車では行きづらく、自転車を利用する人もいると思うが、自転車置き場が少ないのではないかと。ただ自転車置き場をつくるだけでは、通勤通学の人を利用しうまく活用されていないので、3時間無料にするなどの工夫が必要だと思う。車で行きづらいのであれば、バス、タクシー、自転車等で行きやすいよう考えてほしい。レンタル自転車も人気なのでそういったものもうまく活用されていけばよいと思う。

委員長

3つのグループの意見をきき、気が付いたことを申し上げる。

一つ目は、オープンスペース、新庁舎の1、2階の部分が重要になってくること。二つ目は、土日は駐車場をキッチンカー置場とする、会議室を災害時に利用するなど、多角的な利用ができる仕組み、他の用途に転用できる仕組みを考え、そのような発想で活用していくことが大切であること。三つ目は、多治見市を代表する新しい拠点となる新庁舎を、地域文化を発信し、人々のよりどころになるような空間にしていくことが重要であること。

駅南再開発がどういう動きをするのかははっきりした段階で、新庁舎の実施設計にはいっていきける。再開発がある程度ひと段落し、いよいよ新庁舎が多治見駅隣接地に建ち、多治見市として非常に大きなタイミングになってくる。その中でしっかりとしたランドスケープ感を持ち、新庁舎の機能を考えていく必要がある。

駅を中心とした人流は大きく変わってきており、これからもっと変わっていく。その

	<p>ような中、駅隣接の公共空間にどういう人たちをどのように集めていくか、ある程度将来を見据え、新しい価値を創造していくようなコンセプトが必要であると思う。</p> <p>職員の仕事という意味では、現駅北庁舎と新庁舎で部署の配置シャッフルをしながら、職員の市民サービスの提供の仕方を変えていかないと、ハードだけが変わっても意味がない。そのようなことも考えながら、フロア構成等ができていかないとおもしろくない。</p>
<p>3 次回以降の日程</p>	
事務局	<p>次回は、駅北庁舎での開催を予定している。庁舎及び周辺を見学していただき、本日のワークショップの結果をまとめたものを提出。コンセプトのイメージをご提示できればと思う。日程は決定次第連絡する。それではこれで本日の会議を終了する。</p>